

平成25年度 徳山工業高等専門学校学生募集要項

I 選抜の基本方針

入学者選抜の基本方針（アドミッションポリシー）は、本校の学習・教育目標（世界に通用する実践力のある開発型技術者をめざす）を達成できる能力をもった学生を入学させることです。具体的には次のような人を求めています。

- ・ 数学や理科の基礎学力が身につけている人
- ・ コミュニケーション能力の基礎を身につけ、信頼される技術者をめざしている人
- ・ 勉学やクラブ活動などに意欲をもって取り組んでいる人
- ・ ものづくりが好きで、社会の発展に役立ちたいと考えている人

II 募集人員

機械電気工学科	情報電子工学科	土木建築工学科	計
40名	40名	40名	120名

III 選抜の方法・日程

入学者の選抜は、**学力検査によるもの**と、**推薦によるもの**の二つの方法で行います。推薦による入学者数は、各学科とも**20名程度**とします。

日 程

区 分	願 書 受 付 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表
学力検査による選抜	平成25年1月24日(木) ～2月1日(金)	平成25年2月24日(日)	平成25年3月4日(月)
推薦による選抜	平成25年1月11日(金) ～1月17日(木)	平成25年1月26日(土)	平成25年3月4日(月) (結果の通知) 平成25年1月31日(木)

IV **学力検査による入学者の選抜**

1. 出 願 資 格

- (1) 中学校を卒業した者又は平成25年3月に中学校を卒業見込みの者
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者又は平成25年3月に中等教育学校の前期課程を修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者
- (4) 文部科学大臣の指定した者

- (5) 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (6) 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則（昭和41年文部省令第36号）により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
- (7) その他相当年齢に達し、本校が中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

2. 願 書 受 付

- (1) 受付期間 平成25年1月24日(木)から2月1日(金)までとします。
ただし、土・日曜は除きます。また、郵送の場合も2月1日(金)までに必着とします。
- (2) 受付場所 周南市学園台（〒745-8585）
徳山工業高等専門学校 学生課教務係
- (3) 受付時間 9：00～16：30

3. 出 願 手 続

入学志願者は、次の書類をそろえ、出身中学校長を通じて、本校学生課教務係に提出してください。郵送の場合は、書留にして「入学願書」と朱書してください。

(1) 入学願書	本校所定の用紙に記入してください。
(2) 写 真	上半身、無帽、正面向きで出願前3か月以内に撮影したもの（5cm×4.5cm、カラー写真に限る）を入学願書の所定欄に貼付してください。
(3) 入学検定料	16,500円を本校所定の振込用紙を使用して、銀行で払い込み、銀行の収納済印のある「C. 出願用」の用紙を入学願書の裏面に貼付してください。 入学検定料振込期間 平成25年1月7日(月)～2月1日(金)

- 注：1）出願資格の(3)にあたる者は、履修証明書及び成績証明書を提出してください。
2）受験票送付用封筒は不要です。

4. 出願上の注意事項

- (1) 志望学科は第二志望まで認めます。なお、第二志望は欠員補充を行う際に考慮します。
- (2) 出願後の志望学科の変更は認めません。
- (3) 出願書類に事実と反する記載があった場合は、合格させないことがあります。また、合格発表後に判明した場合は、合格を取り消すことがあります。
- (4) 受理した書類及び検定料は返還しません。
ただし、検定料については、次の場合は申し出により返還します。
 - ① 検定料を振り込んだが出願しなかった、または出願書類が受理されなかった場合
 - ② 検定料を二重に振り込んだ場合

5. 中学校長による選抜資料の提出

入学志願者の出身中学校長は、選抜の資料として、次の書類を平成25年2月18日(月)までに提出してください。

(1) 調査書	本校所定の用紙(学力検査用)に記入してください。
(2) 学習及び行動の記録一覧表	平成25年度公立高等学校入学者選抜実施要領により作成したもの(1校1部)

注) 入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用しますので、あらかじめご了承ください。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
- (5) 同窓会・後援会等の案内

6. 身体に障害を有する入学志願者との事前相談

身体に障害(学校教育法施行令第22条の3に定める身体障害の程度)のある入学志願者で、受験及び修学上特別な配慮を希望する者は、出願に先立ち本校学生課へ相談してください。

なお、期限は平成24年12月7日(金)までとします。

また、出願書類提出後、事故などにより配慮が必要になった者は、速やかに相談してください。

7. 入学者選抜方法

(1) 学力検査

イ 検査科目 国語、社会、数学、理科及び英語の5教科とします。

ロ 検査日時

月 日	教 科	時 間
平成25年 2月24日(日)	理 科	9 : 3 0 ~ 1 0 : 2 0
	英 語	1 0 : 4 0 ~ 1 1 : 3 0
	数 学	1 1 : 5 0 ~ 1 2 : 4 0
	国 語	1 3 : 3 0 ~ 1 4 : 2 0
	社 会	1 4 : 4 0 ~ 1 5 : 3 0

ハ 検査場所(下記の5会場で実施します。)

1. 徳山学力検査場：徳山工業高等専門学校
2. 下関学力検査場：下関市豊前田町3-3-1
海峽メッセ下関8F

3. 長門学力検査場：長門市東深川1326-6（物産観光センター2階）
長門市中央公民館

4. 山口学力検査場：山口市神田町1-80
パルトピアやまぐち（防長青年館）

5. 岩国学力検査場：岩国市麻里布町7-1-2
岩国市福祉会館

各受験者の検査室は、学力検査当日検査場毎に掲示します。

※徳山高専以外の検査会場（2～5）は、宇部高専と同一会場で実施します。

また、徳山高専以外の検査会場には駐車場はありません。

(2) 傾斜配点及び選抜について

学力検査の5教科は500点満点ですが、本校では傾斜配点を実施しています。

数学は2倍、国語・英語は1.5倍で700点満点とし、中学校長から提出された調査書を総合して選抜します。

8. 合格者発表

合格者の受験番号を、平成25年3月4日(月)10時に本校校内に掲示します。また郵送で出身中学校長を通じて合格者に通知します。（合格発表当日発送）電話による問い合わせには応じられません。

ホームページでの掲載について

合格発表日から1週間本校ホームページに掲載します。

アドレス <http://www.tokuyama.ac.jp>

9. 入試成績の開示について

開示を希望する者は、入試成績開示申請書（ホームページに掲載）に必要事項を記入のうえ、受験票（コピー不可）を添えて学生課窓口又は郵送で申請してください。なお、開示は、受験者本人からの申請に限ります。

詳細は本校ホームページを参照してください。

アドレス <http://www.tokuyama.ac.jp>

V 推薦による入学者の選抜

1. 出願資格

1-1 一般推薦

推薦入学を志願できる者は、次の各条件に該当する者で、中学校長が責任をもって推薦できる者としてします。

(1) 平成25年3月に中学校を卒業見込みの者又は中等教育学校の前期課程を修了見込みの者

(2) 中学校又は中等教育学校の前期課程における2学年及び3学年の9教科の学業成績の総計が5段階評価で72以上の者（9教科の平均が4.0以上）又は5教科（国

語，社会，数学，理科，英語）の学業成績の総計が5段階評価で40以上の者（5教科の平均が4.0以上）

1-2 特別活動推薦

特別活動推薦入学を志願できる者は，上記1-1の条件に該当し，且つ，クラブ活動又はその他の活動において，以下のいずれかに該当する優れた成績を取め，基本的に本校においてもクラブ等の活動が続ける意志のある者で，中学校長が責任をもって推薦できる者としてします。

- (1) 体育系クラブ活動の成績が，団体競技では都道府県大会3位以内，個人競技では都道府県大会8位以内の成績を残した者。ただし，団体競技においては，正選手として活躍した者
- (2) 文化系クラブ活動の成績が都道府県以上の水準の大会において優秀な成績を残した者
- (3) 県選抜メンバーあるいはそれに相当するメンバーに選ばれた者
- (4) 国，地方公共団体，もしくは広く知られた公的な団体が主催する都道府県以上の大会もしくはコンテストにおいて，優秀な成績を残した者

2. 願書受付

- (1) 受付期間 平成25年1月11日(金)から1月17日(木)までとします。
ただし，土・日曜・祝日は除きます。また，郵送の場合も1月17日(木)までに必着とします。
- (2) 受付場所 周南市学園台（〒745-8585）
徳山工業高等専門学校 学生課教務係
- (3) 受付時間 9：00～16：30

3. 出願手続

入学志願者は，次の書類をそろえ，在籍中学校長を通じて，本校学生課教務係に提出してください。郵送の場合は，書留にして「推薦入学願書」と朱書してください。

(1) 入学願書	本校所定の用紙に記入してください。
(2) 写真票	上半身，無帽，正面向きで出願前3か月以内に撮影したもの（5cm×4.5cm，カラー写真に限る）を写真票の所定欄に貼付してください。
(3) 推薦書	本校所定の用紙により，在籍中学校長が作成したもの
(4) 調査書	本校所定の用紙（推薦入学用）により，在籍中学校長が作成したもの
(5) 入学検定料	16,500円を本校所定の振込用紙を使用して，銀行で払い込み，銀行の収納済印のある「C. 出願用」の用紙を入学願書の裏面に貼付してください。 入学検定料振込期間 平成24年12月17日(月)～平成25年1月17日(木)

特別活動推薦を希望する者は(1)～(5)のほか(6)が必要

(6) 活動記録書	本校所定の用紙により、在籍中学校長が作成したもの
-----------	--------------------------

注：1) 入学志願者から提出された入学願書等に記載された個人情報、3頁の注意書きと同様に利用します。

2) 受験票送付用封筒は不要です。

4. 出願上の注意事項

- (1) 「推薦による入学者の選抜」の志願者が志望できる学科は一学科のみとします。ただし、合格とならなかった場合に「学力検査による入学者選抜」の受験を希望する者は、第二志望まで認めます。
- (2) 出願後の志望学科の変更は認めません。
- (3) 出願書類に事実と反する記載があった場合は、合格させないことがあります。また、合格発表後に判明した場合は、合格を取り消すことがあります。
- (4) 受理した書類及び検定料は返還しません。
ただし、検定料については、次の場合は申し出により返還します。
 - ① 検定料を振り込んだが出願しなかった、または出願書類が受理されなかった場合
 - ② 検定料を二重に振り込んだ場合

5. 身体に障害を有する入学志願者との事前相談

3頁の6. と同様に、本校学生課へ相談してください。

6. 入学者選抜方法

推薦による入学者の選抜方法は、先に特別活動推薦から行います。

特別活動推薦は、各中学校長から提出された「活動記録書（特別活動推薦用）」及び推薦書、調査書、並びに一般面接、適性面接、作文の結果を総合して各学科3名以内を選抜します。

なお、特別活動推薦で選抜されなかった者は一般推薦において再度選考します。

一般推薦選抜は、各中学校長から提出された推薦書、調査書、並びに一般面接、適性面接及び作文の結果を総合して行います。

(1) 適性面接の内容

学 科 名	内 容
機械電気工学科	数学や理科に関連する基礎的なことについて、基本的な理解や論理的な考え方ができるかどうかを問います。
情報電子工学科	
土木建築工学科	

(2) 作文の内容

与えられたテーマについて、自分の意見を600字程度にまとめてもらいます。

(3) 作文及び面接の日時, 場所

月 日	区 分	時 間	場 所
平成25年 1月26日(土)	作 文	A 12:10 ~ 13:10	本 校
		B 11:40 ~ 12:40	
	面 接	A 9:00 ~ 11:50	
		B 13:00 ~	

受験者をA(午前), B(午後)の2グループに分けて面接を行います。集合時刻はA 8:40, B 11:20です。本校から送付する受験票にA・Bを指定します。

7. 選抜結果の通知

平成25年1月31日(木) 推薦による入学者選抜の結果を, 在籍中学校長を通じて受験者全員に文書で通知します。電話による問い合わせには応じられません。

8. 入学確約書の提出

合格内定通知を受けた者は, 平成25年2月18日(月)までに入学確約書を必ず提出してください。

9. 推薦による入学選抜に合格とならなかった者の学力検査受験

「推薦による入学者選抜」の結果, 合格とならなかった者は, 「学力検査による入学者選抜」を受験することができます。受験票は推薦選抜時のものを使用します。

なお, この場合, 在籍中学校長は「学力検査による入学者選抜」を受験する者と同じ本校所定の調査書(学力検査用)及び「学習及び行動の記録一覧表」を平成25年2月18日(月)までに提出してください。

(3頁の5. 中学校長による選抜資料の提出 参照)

その他の出願書類は再提出する必要はありません。また, 入学検定料を再度納める必要はありません。

10. 合格者の発表

合格者の受験番号を, 平成25年3月4日(月)10時に本校校内に掲示します。また郵送で出身中学校長を通じて合格者に通知します。(合格発表当日発送) 電話による問い合わせには応じられません。

ホームページ掲載は4頁を参照してください。

徳山工業高等専門学校入学案内

1. 本校の概要

本校は、中学校の卒業生に5年間の一貫した工業技術教育により、「豊かな教養と高度の技術や実践力を身につけた技術者を育成する」ことを目的とした高等教育機関です。卒業生には「準学士」の称号が与えられます。

また、平成15年度から本校における「設計情報工学」プログラムが、国際的に通用する技術者教育プログラムとして、日本技術者教育認定機構（JABEE）より認定されました。

JABEE認定に関する詳細は、本校ホームページをご覧ください。

アドレス <http://www.tokuyama.ac.jp>

2. 学習・教育目標ならびに本科における具体的到達目標

「世界に通用する実践力のある開発型技術者をめざす人材の育成」

(A) 「世界に通用する」技術者をめざすために

(A1) 複合分野の基礎となる基本的素養を身につけること

○ 数学・自然科学・基礎工学の科目を修得する

(A2) 国際理解を深め、技術者としての倫理観とコミュニケーション能力を養うこと

○ 国際文化・技術者倫理・日本語・外国語の科目を修得する

○ 自らの目標を定め、外部試験を活用して英語力のステップアップを図る

(B) 「実践力のある」技術者をめざすために

(B1) 情報技術をベースに実体験を通して表現力を身につけること

○ 情報関連・実験の科目を修得する

(B2) 自主性と自立性を養うこと

○ 卒業研究の科目を修得する

(C) 「開発型」技術者をめざすために

(C1) 複合分野にわたる知識を有機的に結びつける設計能力を身につけること

○ メカトロ技術・情報電子技術・社会環境整備技術のうち、ひとつの分野の定められた科目を修得する

(C2) 課題を把握し解決する力を身につけ、感性・創造性を磨き養うこと

○ 創造系の科目を修得する

○ 創造演習発表会、卒業研究発表会などで発表を行う

3. 養成しようとする技術者像

本校では「情報技術をベースに、それぞれ得意とする複合技術を生かして、設計・開発を行う素養をもつ技術者」を養成することをめざしています。

また、本科卒業生のめざす技術者像と到達目標を次のように定めています。

技術者像 「自らの業務における技術的課題を解決できる技術者」

到達目標 「実地経験と具体的な業務に応じた学習により、専門分野の課題に対応できる基本的な素養をもつこと」

4. 学 科 案 内

本校は、次の3学科から構成され、いずれも複合学科です。
各学科の概要は次のとおりです。

機械電気工学科

得意とする複合技術：メカトロ技術

「コンピュータで制御する機械を設計・製作する技術」

現代のあらゆる産業分野で活躍しているさまざまな機械は、そのほとんどがコンピュータで制御されるようになっていきます。

本学科では、このようないわゆるメカトロニクス技術に対応できる技術者の養成をめざしており、そのため、機械の分野ばかりでなく電気・制御・情報に関する知識を修得できるようにカリキュラムが編成されています。

また、実践的で応用力のある技術者を育成するため、低学年から3次元CADによる製図、コンピュータによる演習、自律型ロボットの製作などの実習、さらに各種資格試験にも関連する実践的授業が行われています。

情報電子工学科

得意とする複合技術：情報電子技術

「コンピュータ技術をベースに電子情報通信システムを設計・構築する技術」

近年、コンピュータ技術の応用分野は飛躍的に拡大、多様化してきており、高度情報化社会を担う情報処理技術者が求められています。

本学科では、電子工学分野と情報工学分野をバランスよく学習することにより、コンピュータのハードウェア技術及びソフトウェア技術を身につけ、これらの技術を活かして情報処理システム、通信情報システム、コンピュータ応用機器システムなどの設計・構築、更にはインターネットなどネットワークシステムの設計・構築に従事できる高度なコンピュータシステム技術者をめざします。

土木建築工学科

得意とする複合技術：社会環境整備技術

「情報技術を活用し社会基盤や建築空間を設計・施工する技術」

人々の安心できる生活を保障する土木工学と建築学の役割は環境問題にも関係しており、今後ますます重要となります。本学科はこの土木工学と建築学の複合・融合を図り、土木技術者と建築技術者、どちらにも対応できるような課程となっています。

本学科の特色は、広い知識と実践的な技術を身につけるため、コンピュータの利用や新しい計測機器による実験・実習を行っていることです。また、設計製図や卒業研究などには特に十分な時間を充てています。

一 般 科 目

一般科目は、広い視野をもったすぐれた技術者を育てるため、豊かな教養を身につけること及び専門の知識や技術を習得するための学問的基礎を養うことを目的としています。1～5年の全授業時間数の約半数がこれに充てられています。低学年の授業は、一般科目が主となりますが、学年が進むにつれて一般科目は減少し専門科目が増加します。

5. 教 育 課 程

授業科目は、各学科に共通な一般科目と各学科ごとに異なる専門科目に分かれて開設されており、所要の科目を5年間で学びます。

詳しくは15頁教育課程を参考にしてください。

6. 入学時に要する諸経費

区 分	金 額
入 学 料	84,600円
授 業 料 (注)	前期分(年額234,600円)
日本スポーツ振興センター会費	年 額
学 生 傷 害 保 険 料	5 カ 年 分
学 生 会 入 会 金	
学 生 会 費	年 額
教 科 書 代	学科により異なる
体 育 衣 等	
実 習 服 ・ 安 全 靴 等	機械電気工学科のみ
製 図 用 具, マ イ コ ン 等	
そ の 他 諸 経 費	
合 計	

(注) 在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。
また、高等学校等就学支援金制度の適用があります。(7.(2)参照)

入学料及び授業料の納入について

入学料は、平成25年3月19日(火)までに納めてください。なお、納入済みの入学料は返還しません。

授業料の納入方法については、合格通知に併せて後日通知します。

7. 入学料減免及び奨学金制度

(1) 入学料免除

入学前1年以内に入学者の学費を主として負担している者が死亡した場合又は、これに準ずる特別な事情により納付が著しく困難であると認められる場合は、入学料の全額又は半額が免除されます。

また、入学料の徴収猶予制度もあります。

(2) 高等学校等就学支援金

家庭の状況にかかわらず、全ての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込める社会をつくるため、国の費用により、学生の授業料に充てる高等学校等就学支援金を創設し、家庭の教育費負担を軽減するものです。

高等学校等就学支援金制度については、高等専門学校（1～3年生が該当）も含まれており、授業料について年間118,800円が助成されます。また、保護者の所得によって、さらに加算される場合があります。

(3) 奨学金

学業、人物ともにすぐれ、経済的理由により修学が困難と認められる者に対して、選考のうえ日本学生支援機構その他の団体などから奨学金が貸与されます。

イ 日本学生支援機構の奨学生は、中学校在学中に予約採用された者と、入学後あらたに出願して採用される者があります。平成24年度入学生の貸与月額はおおりのとおりです。

種 類	学 年	1年～3年	4年～5年
	第 一 種 奨 学 金	自宅・自宅外	10,000円
自 宅		21,000円	
自 宅 外		22,500円	

ロ その他 （山口県ひとづくり財団など）

8. 学 寮

(1) 施 設

学内に冷暖房完備の学寮「高城寮」（男子定員120名、女子定員24名（外国人留学生を含む））があり、「自立の志が高い人」を受け入れています。充実した生活環境の中で勉学や課外活動にも集中でき、時間を有効に活用した学生生活を楽しむことができます。

(2) 入 寮

入寮は書類（場合によっては面接）選考により、「入寮の目的、向学意欲、適性」を確認した上で受け入れを許可しています。

(3) 経 費（平成24年度の場合）

寄宿料	月額	700円
食費（1日3食1,150円）	月額	約34,500円
寮費（光熱水費等）	月額	6,000円
冷暖房機維持更新費	半期	3,000円
入寮費	入寮時	1,000円
その他に寮生会費	年額	1,500円

9. 学 生 生 活

本校では「自分で考え、行動し、しかも自分の行為に責任をもつ」という自主性の育成に教育の重点をおいています。

(1) 制服について

1～3年生は定められた制服を着用しなければなりません。

4年生以上は制服以外の服装で通学してよいが、この場合の服装は本校の学生としての品位をそこなわないものでなければなりません。

(2) 通学について

自転車通学については、許可制になっていますが、3年生以下の学生は、自動車、自動二輪車及び原動機付自転車（バイク）を運転して通学することを原則として禁止しています。また、3年生以下の学生は、原則として道路交通法に規定する運転免許の取得を禁止しています。

ただし、4年生以上の学生については、一定の条件を満たした場合にバイク等の通学を許可しています。また、卒業研究で帰宅が遅くなる場合にも、自動車等の使用を許可することがあります。

10. 各種施設・学生会活動

各種施設

学生の利用できる施設としては、野球場、陸上競技場、体育館、武道場、テニスコート、プールなどの体育関係施設及び図書館、福利厚生センター、合宿研修施設、学生食堂などがあります。

学生会活動

本校には学生全員をもって構成する学生会があり、学生生活における集団活動への積極的参加、自発的な活動による自主性、人間形成の助長を目的として活動しています。

現在活動しているクラブは次のとおりです。

(体育関係) 陸上部、バスケットボール部、バレーボール部、ソフトテニス部、卓球部、剣道部、水泳部、硬式野球部、サッカー部、バドミントン部、ハンドボール部、テニス部、アーチェリー部、柔道部、スキー・スノーボード同好会

〔中国地区及び全国の高専体育協会及び山口県高校野球連盟並びに山口県高校体育連盟に加入しています。〕

(文化関係) 美術部、音楽部、写真部、吹奏楽部、文芸部、メカトロシステム部、ニューメディア部、茶道部、英語に親しむ同好会、囲碁同好会、伝統文化に親しむ同好会、インターアクト同好会、模型同好会、園芸同好会、生物同好会、デザイン研究同好会

〔中国地区高等専門学校文化連盟に加入しています。〕

11. 卒業後の進路

年度 学科名	21年度		22年度		23年度	
	就職	進学他	就職	進学他	就職	進学他
機械電気工学科	25	18	27	14	25	19
情報電子工学科	17	20	27	11	25	17
土木建築工学科	12	28	18	29	21	23

(1) 就職状況

平成24年3月、本校第34回卒業生の求人倍率は、13.7倍です。最近の主な就職先は次のとおりです。(平成21年～23年度卒業生)

[機械電気工学科]

I H Iエアロスペースエンジニアリング、宇部マテリアルズ、NOK、Mテック、オルガノ、関西電力、カンセツ、京セラ、協和発酵バイオ、きんでん、呉興業、コベルコ建機、シチズンセイミツ、シマノ、シャープ、ジェイベック、新日本製鉄、JALエンジニアリング、ジーエスユアサコーポレーション、周南市、西部石油、武田薬品工業、田辺三菱製薬工場、中国電力、帝人ファーマ、ディスコ、テルモ、デザインネットワーク、TOTO、東海旅客鉄道(JR東海)、東京電力、東芝エレベータ、東芝社会システム社、東ソー、東洋鋼鈹、トクヤマ、徳山工業高等専門学校、西日本旅客鉄道(JR西日本)、日新製鋼、日本海洋掘削、日本ゼオン、日本モレックス、日立国際電気サービス、日立製作所、三浦工業、三菱化学、三菱重工業、三菱電機システムサービス、三菱電機マイコン機器ソフトウェア、三菱ビルテクノサービス、ムラテックCCS、明治乳業、リコー

[情報電子工学科]

アイシン・コムクルーズ、アイティー、アトラス情報サービス、出光興産、宇部興産、宇部情報システム、エイム、エネルギー・コミュニケーションズ、エヌアイ情報システム、NECフィールドディング、NTTコミュニケーションズ、NTTコムウェア西日本、NTTデータ、エヌ・ティ・ティネオメイト、大阪シーリング印刷、オムロンフィールドエンジニアリング、関西電力、KDDIエンジニアリング、京セラ、KOUZIRO、コニカミノルタビジネスソリューションズ、西京銀行、シャープビジネスコンピュータソフトウェア、新川電機、ダイキン工業、中国電力、デザインネットワーク、東芝、東ソー、東ソー・ハイテック、東洋ヒューム管、トクヤマ、トクヤマ情報サービス、日電工業、日東電工、日本システム開発、日本ゼオン、ハツタ山口、バンドー化学、日立交通テクノロジー、日立国際電気、日立ハイテクノロジーズ、富士通、富士通アドバンストソリューションズ、富士通エフサス、富士通関西中部ネットテック、富士通九州システムズ、富士通ゼネラル、フリーピット、ミヨシ油脂、メディコムソリューション、森板金製作所、安川コントロール、山口エヌエフ電子、リコーテクノシステムズ

[土木建築工学科]

鶴工舎, 岩国市役所, 鹿島クレス, 川岸工業, 関西電力, 共立測量設計, 三建設備工業, 産機設計, シマダ, 周南市役所, しらい, 大鉄工業, 中国電力, 中冷, D. BRAIN, 東海旅客鉄道 (JR東海), 東京電力, 東ソー, 東洋建設, TOTOエンジニアリング, トクヤマ, 時盛建設, 長崎建設, NIPPO, 西日本高速道路, 西日本旅客鉄道 (JR西日本), ニチゾウテック, ハローネット, ハツタ山口, 美建築設計事務所, 広島市役所, 前田道路, 村田機械, 山口県庁, ライト工業, 若築建設

(2) 進 学

卒業後さらに勉学を続けたい人は、高専の専攻科（修業年限2年）及び大学（3年次編入学）に進学することができます。

・高専の専攻科

専攻科は現在、ほとんどの高専に設置されており、本校にも機械制御工学専攻, 情報電子工学専攻, 環境建設工学専攻からなる専攻科が設置されています。専攻科を修了し、一定の要件を満たした者には、国の機関である大学評価・学位授与機構から「学士」の学位が授与されます。

・大学編入学

高専の卒業生を数多く受け入れる長岡, 豊橋両技術科学大学をはじめ、多数の国公私立大学が編入学制度を実施しています。

本校からも下記の大学に編入学しています。

[機械電気工学科]

徳山高専専攻科, 秋田大学, 大阪大学, 岡山大学, 九州工業大学, 九州大学, 神戸大学, 千葉大学, 東京大学, 東北大学, 豊橋技術科学大学, 長岡技術科学大学, 名古屋工業大学, 宮崎大学, 山口大学

[情報電子工学科]

徳山高専専攻科, 愛知工業大学, 岩手県立大学, 宇都宮大学, 大阪大学, 九州工業大学, 高知工科大学, 電気通信大学, 筑波大学, 東北大学, 豊橋技術科学大学, 長岡技術科学大学, 広島市立大学, 広島大学, 山形大学, 山口大学

[土木建築工学科]

徳山高専専攻科, 愛媛大学, 九州工業大学, 熊本大学, 神戸大学, 千葉大学, 徳島大学, 豊橋技術科学大学, 長岡技術科学大学, 三重大学, 山口大学, 立命館大学

教育課程 一般科目

※印は学則第14条第2項に定める単位を示す。

	授業科目	単位数	学年別単位数					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	国語総合Ⅰ	4	4					
	国語総合Ⅱ	4		2	2			
	歴史	4	2	2				
	倫理	2		2				
	政治・経済	2	2					
	法学	2			2			
	数学ⅠA	3	3					
	数学ⅠB	3	3					
	数学ⅡA	3		3				
	数学ⅡB	3		3				
	数学ⅢA	2			2			
	数学ⅢB	2			2			
	※微分積分学Ⅰ	1				1		
	※微分方程式Ⅰ	1				1		
	※ベクトル解析Ⅰ	1				1		ME, IE
	※線形代数学Ⅰ	1				1		CA
	※生物物理基礎Ⅰ	2	2					
	※物理基礎Ⅰ	2	1					
	※物理Ⅰ	2		2				
	※物理Ⅱ	2			2			
※力学Ⅰ	1				1		ME, IE	
※一般物理解Ⅰ	1				1		CA	
化学基礎Ⅰ	2	2						
化学Ⅰ	1		1					
化学Ⅱ	1		1					
体育Ⅰ	8	2	2	2	2			
保健衛生Ⅰ	2	1						
芸術Ⅰ	2		2					
基礎英語Ⅰ	3	3						
総合英語Ⅰ	4		4					
総合英語Ⅱ	3			3				
※総合英語演習Ⅰ	2				2			
※総合英語演習Ⅱ	1					1		
※総合英会話Ⅰ	3			1	1	1		
履修単位数計	76	25	25	16	9	1	ME, IE CA	
選択科目	※日本語コミュニケーション	1				1		
	※哲学Ⅰ	1				1		
	※世界経済Ⅰ	1				1		
	※中国文学Ⅰ	1				1		
	※歴史Ⅰ	1					1	
	※言語学概論Ⅰ	1					1	
	※心理学Ⅰ	1					1	
	※人文社会特講Ⅰ	2				1	1	
	※ドイツⅠ	3				2	1	
	※英語特別演習Ⅰ	1					1	
	※中国語Ⅰ	3				2	1	
	※生物Ⅰ	1				1		
	※物理化学Ⅰ	1				1		
	※環境科学Ⅰ	1				1		
	※自然科学特講Ⅰ	1				1		
開設単位数計	21				14	7		
履修単位数計	5				3	2		
履修単位数合計	81	25	25	16	12	3	ME, IE CA	
特別活動	3	1	1	1	11	4		

(注) ME: 機械電気工学科
IE: 情報電子工学科
CA: 土木建築工学科

機械電気工学科

	授業科目	単位数	学年別単位数					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	卒業研究	8						8
	履修単位数計	8						8
必修科目	機械の基礎	1	1					
	電気の基礎	1	1					
	技術発達史	1	1					
	知的財産権	1			1			
	※技術者倫理Ⅰ	1					1	
	※工業英語Ⅰ	1			1			
	※工業英語Ⅱ	1					1	
	※関数論Ⅰ	1					1	
	※確率・統計Ⅰ	1					1	
	※フーリエ変換Ⅰ	1					1	
	コンピュータ基礎Ⅰ	1	1					
	プログラミング基礎Ⅰ	2		2				
	プログラミング応用Ⅰ	1			1			
	※数値計算Ⅰ	1						1
	※電気回路Ⅰ	1			1			
	※電気回路Ⅱ	1				1		
	※電子回路Ⅰ	2			2			
	※電子回路Ⅱ	1					1	
	※電気磁気学Ⅰ	2					2	
	※アクチュエータⅠ	1			1			
※制御工学Ⅰ	1				1			
※制御工学Ⅱ	2						2	
※計測工学Ⅰ	2						2	
※加工工学Ⅰ	1		1					
※工業力学Ⅰ	1			1				
※機械力学Ⅰ	1				1			
※機械力学Ⅱ	1						1	
※計算力学Ⅰ	1						1	
※材料力学Ⅰ	2			2				
※材料力学Ⅱ	1				1			
※材料力学Ⅲ	1				1			
※材料力学Ⅳ	2					2		
※弾塑性論Ⅰ	1						1	
※水力学Ⅰ	1			1				
※水力学Ⅱ	1				1			
※熱力学Ⅰ	2				2			
※熱力学Ⅱ	1						1	
※機械設計論Ⅰ	1					1		
※機械設計論Ⅱ	2						2	
※基礎設計製図Ⅰ	2	2						
※基礎設計製図Ⅱ	2		2					
※設計製図Ⅰ	1			1				
※設計製図Ⅱ	2				2			
※工作実習Ⅰ	2	2						
※工作実習Ⅱ	2		2					
※工学実験Ⅰ	1			1				
※工学実験Ⅱ	3					3		
※創造演習Ⅰ	1	1						
※創造演習Ⅱ	1			1				
※創造製作Ⅰ	2		2					
※創造製作Ⅱ	2					2		
※工学セミナーⅠ	1						1	
履修単位数計	73	9	9	18	23	14		
選択科目	総合実地演習Ⅰ	2		2				
	校外実習Ⅰ	1	1				1	
	校外実習Ⅱ	2					2	
	※環境リサイクルⅠ	1						1
	※一般物理解Ⅰ	1						1
	※知能情報工学Ⅰ	1						1
	※機能材料Ⅰ	1						1
	※タボ機械Ⅰ	1						1
	※伝熱工学Ⅰ	1						1
	※有限要素法Ⅰ	1						1
	※流体力学Ⅰ	1						1
	※ベンチャービジネスⅠ	1						1
	※特別講義Ⅰ	1						1
	※特別講義Ⅱ	1						1
	開設単位数計	16		2		3	11	
履修単位数計	5					5		
履修単位数合計	86	9	9	18	23	27		
一般科目履修単位数合計	81	25	25	16	12	3		
専門科目履修単位数合計	86	9	9	18	23	27		
合計	167	34	34	34	35	30		

情報電子工学科

	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 単 位 数					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修 科目	卒 業 研 究	10					10	
	履 修 単 位 計	10					10	
必 履 修 科 目	電 気 数 学	1		1				
	集 合 と 論 理	1		1				
	知 的 財 産 権	1			1			
	情 報 数 学	2			2			
	※ フーリエ・ラプラス変換	1				1		
	確 率	1			1			
	※ 統 計 学	1					1	
	※ 情 報 理 論	2				2		
	※ デジタル信号処理	1					1	
	※ 電 磁 気 学	2				2		
	※ 数 値 解 析	1					1	
	※ 社 会 情 報 シ ス テ ム	1				1		
	基 礎 電 気 回 路	2	2					
	電 気 回 路	2		2				
	計 測 工 学	2			2			
	ア ナ ログ 回 路	2			2			
	デ ィ ジ タ ル 回 路	2			2			
	電 子 工 学 実 験	4			4			
	※ 情 報 通 信 工 学	2				2		
	※ デジタル回路応用	1				1		
	基 礎 コ ン ピ ュ ー タ 工 学	2	2					
	コ ン ピ ュ ー タ の 基 礎 知 識	1	1					
	コ ン ピ ュ ー タ 演 習	1	1					
	基 礎 プ ロ グ ラ ミ ン グ	3	3					
	コ ン ピ ュ ー タ 工 学	2		2				
	プ ロ グ ラ ミ ン グ	2		2				
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 言 語	1		1				
	コ ン ピ ュ ー タ シ ス テ ム 概 論	1			1			
	ア ル ゴ リ ズ ム と デ ー タ 構 造	2			2			
	シ ス テ ム プ ロ グ ラ ミ ン グ I	1			1			
	※ シ ス テ ム プ ロ グ ラ ミ ン グ II	1				1		
	※ コ ン ピ ュ ー タ ア ー キ テ ク チ ャ	2				2		
※ ソ フ ト ウ ェ ア 工 学	2				2			
※ デ ー タ ベ ー ス	2				2			
※ コ ン ピ ュ ー タ シ ス テ ム 実 験	4				4			
※ オ ペ レ ー テ ィ ン グ シ ス テ ム I	1				1			
※ オ ペ レ ー テ ィ ン グ シ ス テ ム II	1					1		
※ ネ ッ ト ワ ー ク ア ー キ テ ク チ ャ	2					2		
※ 創 造 演 習	1				1			
※ 創 造 製 作	1					1		
工 学 セ ミ ナ ー	1				1			
※ 英 語 講 義	2					2		
特 別 講 義	1					1		
履 修 単 位 計	69	9	9	18	23	10		
選 択 科 目	※ 集 積 回 路 設 計	2				2		
	※ 画 像 工 学	2				2		
	※ 電 子 通 信 シ ス テ ム 実 験	2				2		
	※ 言 語 処 理	2				2		
	※ オ ブ ジ ェ ク ト 指 向 プ ロ グ ラ ミ ン グ	1				1		
	※ 図 形 処 理	2				2		
	※ 知 的 情 報 理 論	2				2		
	※ シ ス テ ム 数 理 工 学	2				2		
	※ 情 報 シ ス テ ム 実 験	2				2		
	校 外 実 習	1	1			1		
校 外 実 習	2	2			2			
開 設 単 位 計	20				3	17		
履 修 単 位 計	7					7		
履 修 単 位 合 計	86	9	9	18	23	27		
一 般 科 目 履 修 単 位 合 計	81	25	25	16	12	3		
専 門 科 目 履 修 単 位 合 計	86	9	9	18	23	27		
合 計	167	34	34	34	35	30		

土木建築工学科

	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 単 位 数					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修 科目	卒 業 研 究	8					8	
	履 修 単 位 計	8					8	
必 履 修 科 目	力 と 変 形	1	1					
	構 造 力 学 基 礎	4		1	3			
	※ 構 造 力 学	2				2		
	※ 建 築 一 般 構 造	1			1			
	※ 鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 工 学	2				2		
	※ プ レ ス ト レ ス ト コ ン ク リ ー ト 工 学	1					1	
	※ 鋼 構 造 学 I	1				1		
	※ 鋼 構 造 学 II	1					1	
	※ 建 築 構 造 設 計	2					2	
	※ 地 盤 工 学 基 礎	2			2			
	※ 地 盤 工 学	2				2		
	※ 基 礎 構 造 学	1					1	
	※ 道 路 工 学 I	1				1		
	※ 道 路 工 学 II	1					1	
	※ 水 理 学 基 礎	2			2			
	※ 水 理 学	2				2		
	※ 環 境 衛 生 工 学	1					1	
	※ 建 設 先 端 材 料	1	1					1
	※ 西 洋 建 築 史	1	1					
	※ 建 築 デ ザ イン 概 論	1		1				
	※ 建 築 計 画	2			2			
	※ 都 市 計 画	2				2		
	※ 建 築 環 境 工 学	1				1		
	※ 建 築 環 境 工 学 演 習	1					1	
	※ 建 築 設 備	2					2	
	※ 土 木 法 規	1					1	
	※ 建 築 法 規	1					1	
	※ 土 木 施 工 法	1					1	
	※ 建 築 施 工 法	1					1	
	※ 建 設 マ ネ ジ メ ン ト	1					1	
	※ 技 術 者 倫 理	1					1	
	※ 情 報 処 理	5	2	1	2			
※ C A D 基 礎	1				1			
※ C A D 応 用	1				1			
※ 確 率 ・ 統 計	1					1		
測 量 学 I	2	2						
測 量 学 II	2		2					
測 量 学 III	1				1			
測 量 学 特 論	1					1		
測 量 実 習	4		2	2				
工 学 デ ザ イン 基 礎 I	2	2						
工 学 デ ザ イン 基 礎 II	2		2					
工 学 デ ザ イン 基 礎 III	2			2				
※ 工 学 デ ザ イン I	2				2			
※ 工 学 デ ザ イン II	2					2		
※ 創 造 演 習	2				1	1		
※ 基 礎 工 学 実 験	2			2				
※ 工 学 実 験 I	1				1			
※ 工 学 実 験 II	1					1		
履 修 単 位 計	79	9	9	18	22	21		
選 択 科 目	※ 鋼 構 造 学 III	1					1	
	※ 振 動 工 学	1					1	
	※ 応 用 プ ロ グ ラ ミ ン グ	1					1	
	※ 河 海 工 学 I	1				1		
	※ 河 海 工 学 II	1					1	
	※ 火 災 学	1					1	
	※ 建 築 材 料	1				1		
	※ 日 本 建 築 史	1					1	
	※ 近 代 建 築 史	1					1	
	※ 特 別 講 義	1					1	
工 学 セ ミ ナ ー	1				1			
校 外 実 習	1	1				1		
校 外 実 習	2	2				2		
開 設 単 位 計	14					6	8	
履 修 単 位 計	4					2	2	
履 修 単 位 合 計	91	9	9	18	24	31		
一 般 科 目 履 修 単 位 合 計	81	25	25	16	11	4		
専 門 科 目 履 修 単 位 合 計	91	9	9	18	24	31		
合 計	172	34	34	34	35	35		

徳山高専への案内図

徳山駅前より防長交通バス運行（6番乗場）

学力入試当日は、徳山駅から本校までの臨時バスを運行します。
なお、このご案内は、受験票送付に併せて各中学校へ通知します。

推薦入試は土曜日に実施しますので、下記の定期便が運行します。

○久米温泉口行（6-3）①→大学高専下②下車（所要約20分）→徒歩10分

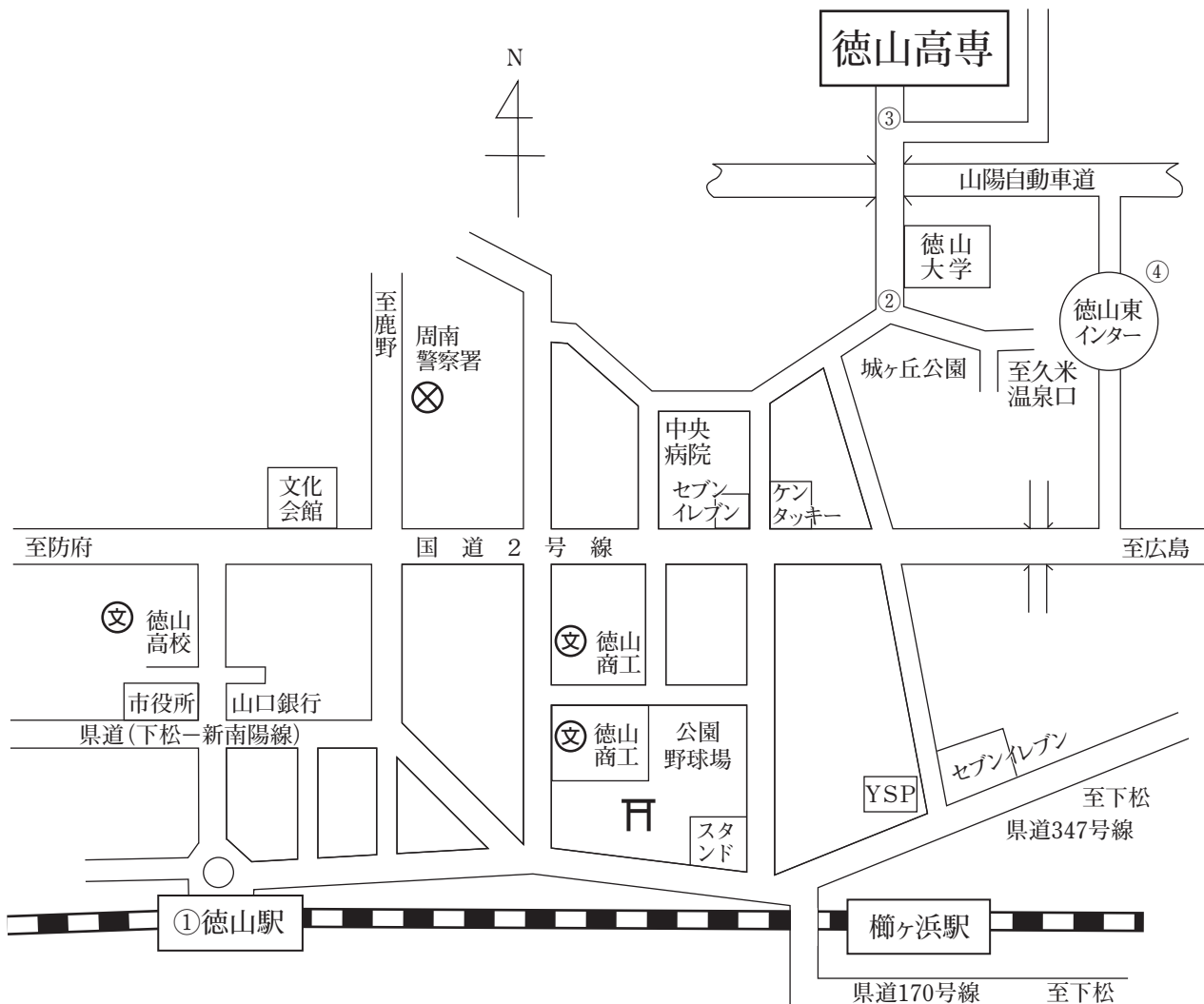
タクシー利用の場合

徳山駅より 約15分 1,800円程度

櫛ヶ浜駅より 約8分 1,300円程度

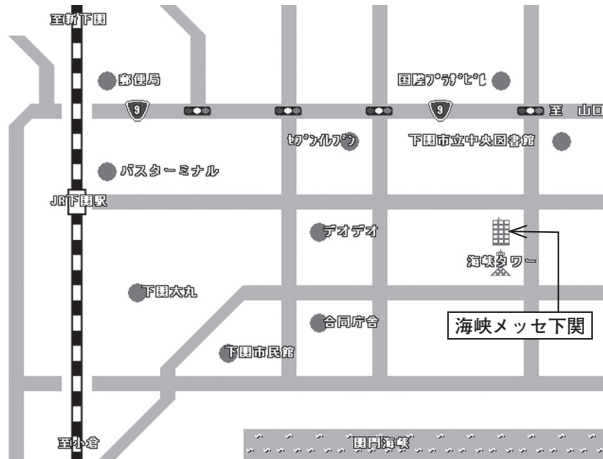
山陽自動車道徳山東インター④から徳山高専③まで自動車で5分

※ ○番号は、地図の番号を指す。



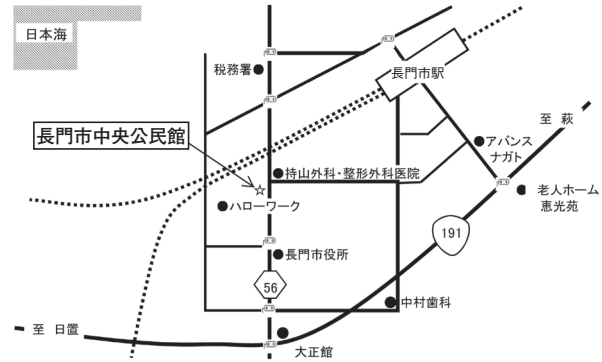
下関検査場への案内図

検査場所：海峡メッセ下関 8F
 下関市豊前田町3丁目3-1
 交通案内 JR下関駅から 徒歩7分



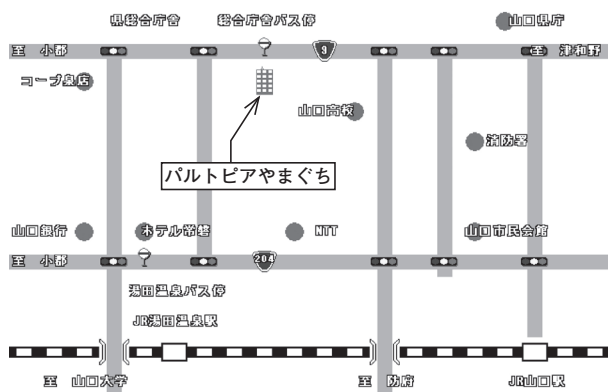
長門検査場への案内図

検査場所：長門市中央公民館
 長門市東深川1326-6
 交通案内 JR長門市駅から 徒歩10分



山口検査場への案内図

検査場所：パルトピアやまぐち（防長青年館）
 山口市神田町1-80
 交通案内 JR湯田温泉駅下車
 タクシー10分



岩国検査場への案内図

検査場所：岩国市福祉会館
 岩国市麻里布町7-1-2
 交通案内 JR岩国駅から 徒歩10分

